

令和5年 水稻病虫害発生状況（6月）

1 いもち病（葉いもち）

補植用置苗の残存ほ場割合は、全域で平年よりやや低い～低くなり、置苗での葉いもちの発生は確認されませんでした（図1、表1）。

置苗は葉いもちの発生源になるため、ほ場に残存している場合は速やかに処分してください。

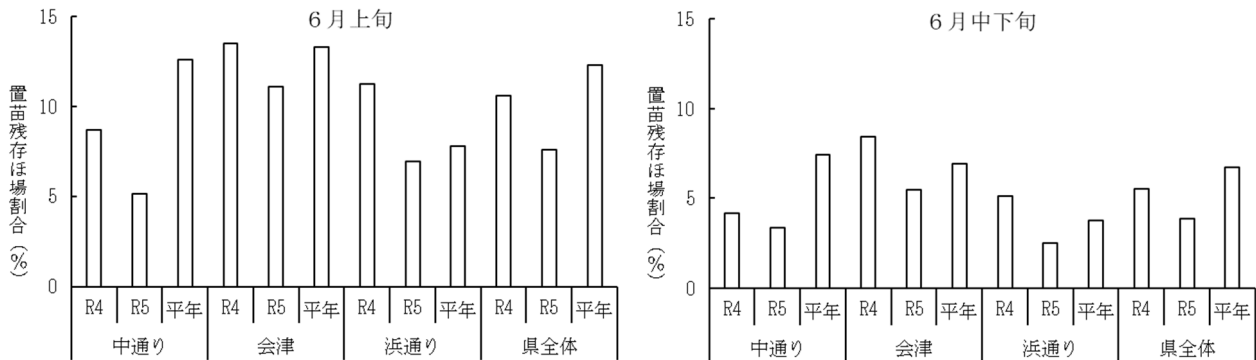


図1 補植用置苗のほ場での残存状況（6月）

注) 調査ほ場数… 中通り： 6月上旬…330、 6月中下旬…326
 会津： 6月上旬…261、 6月中下旬…239
 浜通り： 6月上旬…172、 6月中下旬…160

表1 置苗での葉いもち初発確認日

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
中通り	7/2	—	6/22	—	—	—	—	—	—	—	—
会津	—	6/20	6/8	—	6/21	6/11	—	—	6/17	7/7	—
浜通り	—	—	—	—	—	—	—	6/12	6/15	—	—

注) 「—」は発病未確認を表す。

2 イネミズゾウムシ

発生ほ場割合は、6月上旬、中下旬ともに全域で平年並～多くなりました。また、中通りと浜通りの一部では発生程度の高いほ場も確認されました（図2）

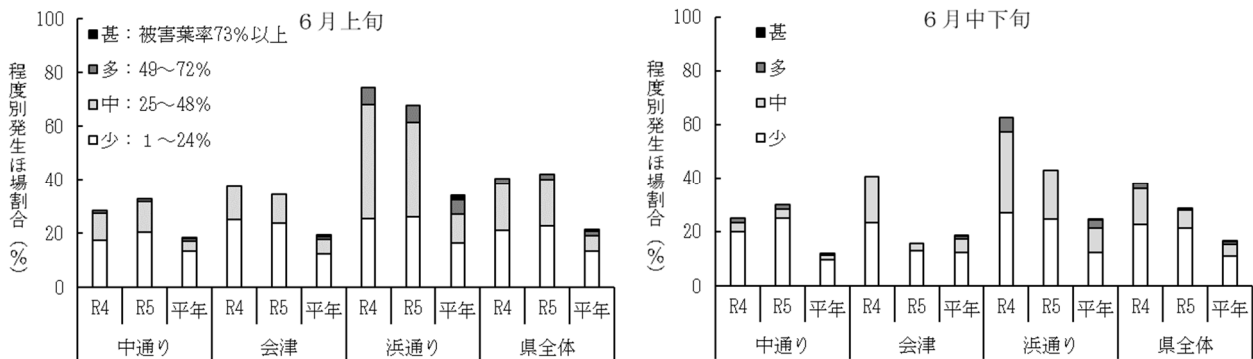


図2 イネミズゾウムシの発生状況（6月）

3 イネドロオイムシ

発生ほ場割合は、6月上旬は中通りで平年並、浜通りでやや高くなり、6月中下旬は中通りでやや高く、浜通りで平年並でした。会津では発生が確認されませんでした（図3）。

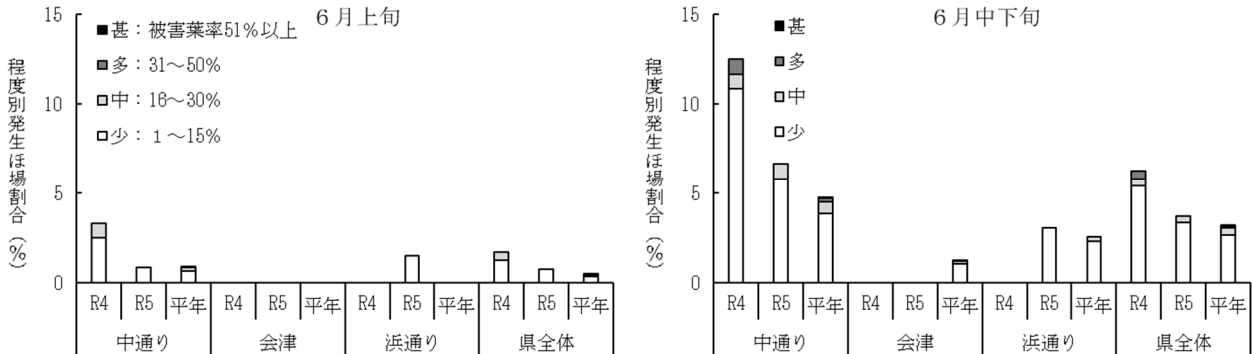


図3 イネドロオイムシの発生状況（6月）

4 イネヒメハモグリバエ

発生ほ場割合は、全域で平年より低くなりました。また、発生程度の高いほ場は確認されませんでした（図4）。

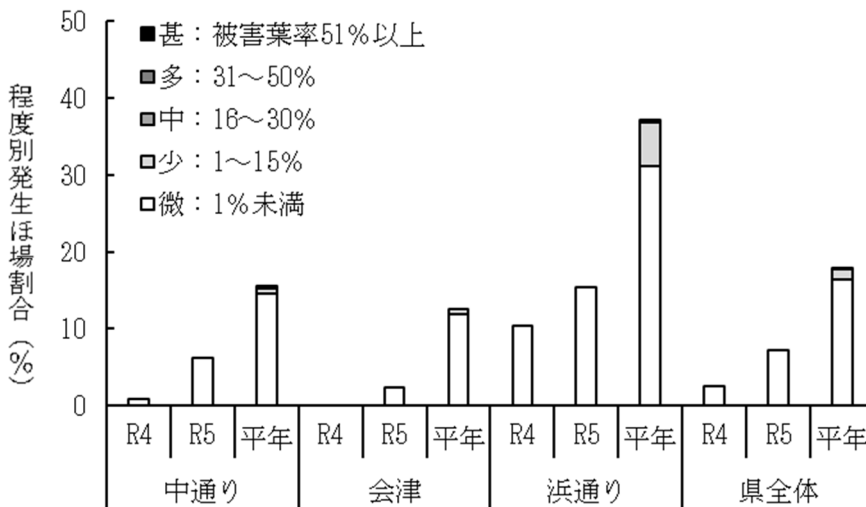


図4 イネヒメハモグリバエの発生状況（6月上旬）

5 イナゴ類

発生ほ場割合は、6月上旬は中通りで平年よりやや低く、会津、浜通りでやや高くなりました。6月中下旬は中通り、会津で平年並、浜通りでやや高くなりました（図5）。

畦畔すくい取り調査による発生地点割合は全域で平年より低く、1地点当たりすくい取り数は少なくなりました（図6、7）。

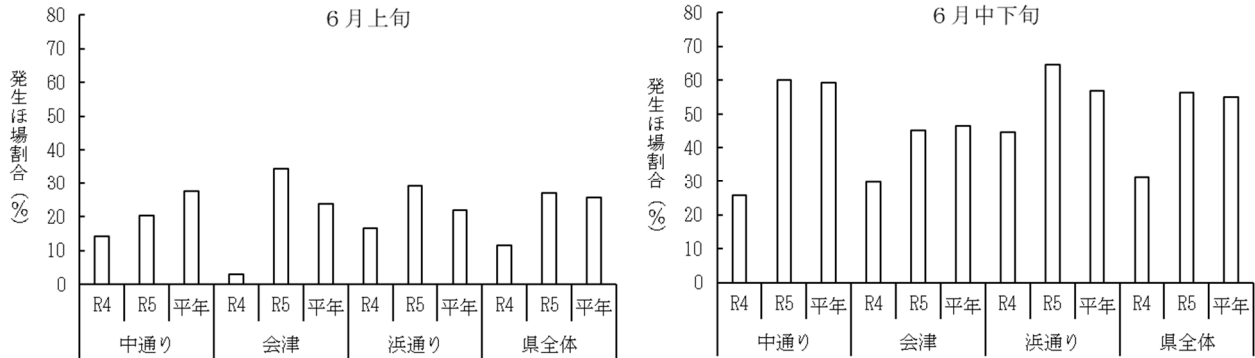


図5 イナゴ類の発生状況（6月）

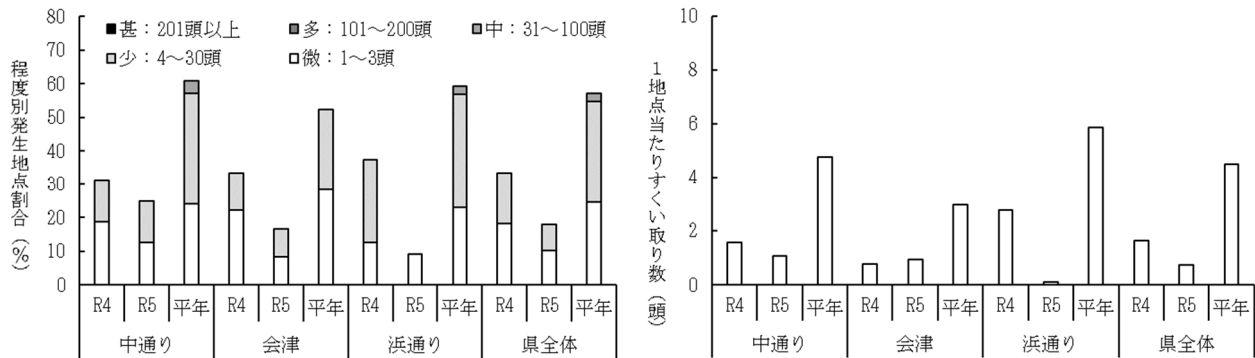


図6 畦畔すくい取りにおけるイナゴ類の発生状況（6月中下旬）

図7 畦畔すくい取りにおけるイナゴ類の1地点当たりすくい取り数（6月中下旬）

6 斑点米カメムシ類

畦畔すくい取り調査による発生地点割合は、中通り、会津で平年並、浜通りで低くなりました（図8）。

種別では、全域でアカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、ホソハリカメムシが多く捕獲されました（図9）。

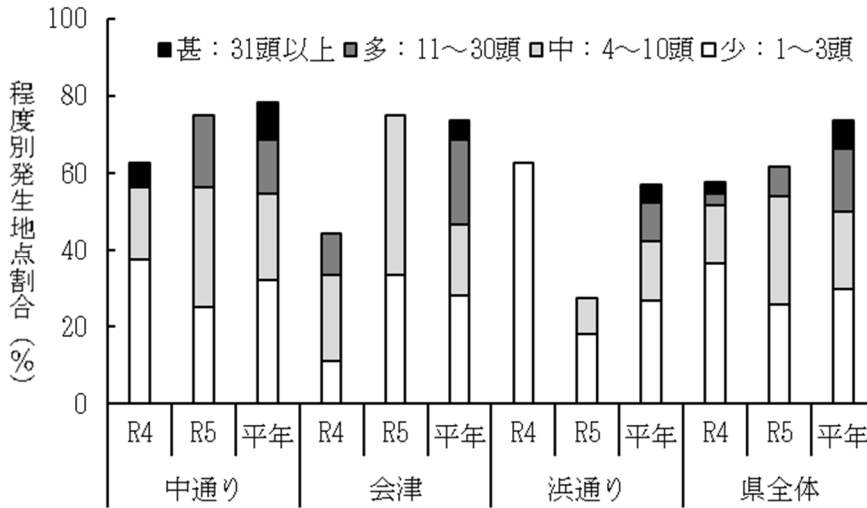


図8 畦畔すくい取りにおける斑点米カメムシ類の発生状況（6月中下旬）

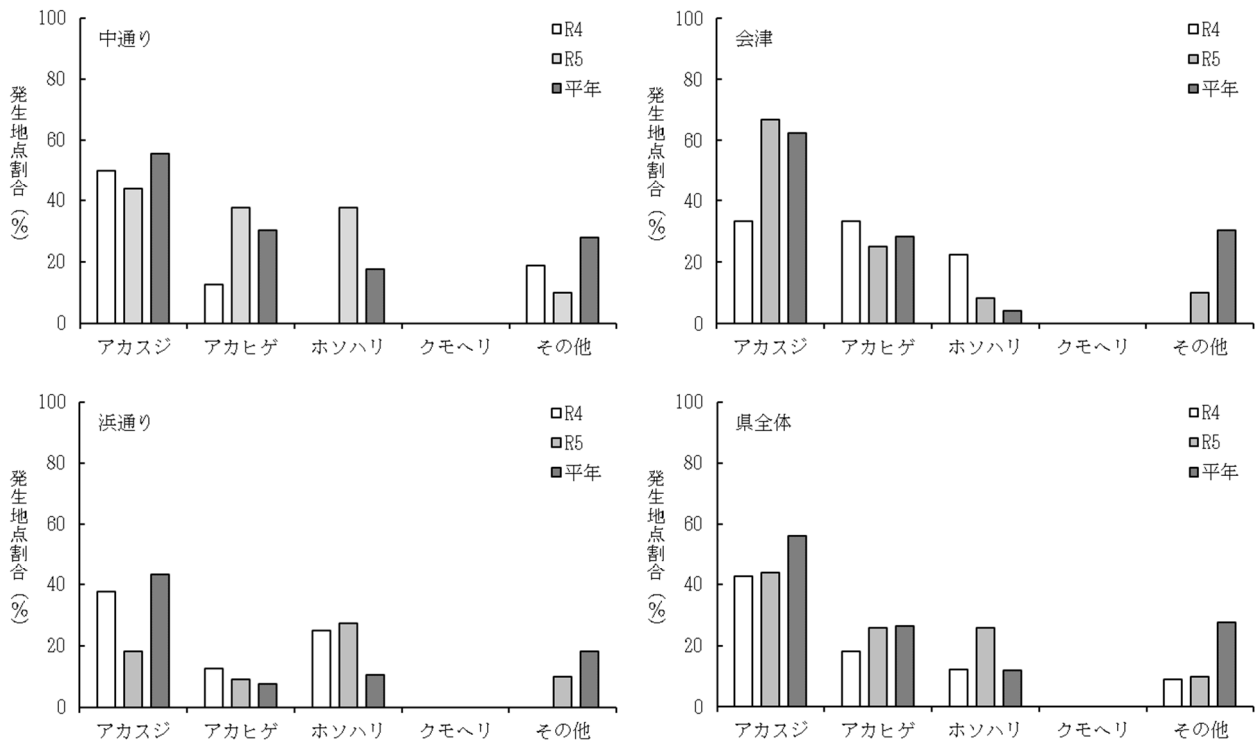


図9 畦畔すくい取り調査における斑点米カメムシ類の種別発生状況（6月中下旬）